

おきたま 社会教育情報

Vol. 125 令和2年12月号

置賜地区自作視聴覚教材コンクール表彰式・作品鑑賞会

12月6日(日)、南陽市赤湯公民館(えくぼプラザ)において標記表彰式・作品鑑賞会を開催しました。

今年度は、社会教育部門4作品、学校教育部門5作品、児童生徒作品部門1作品の合計10作品の素晴らしい作品を出品いただきました。出席された受賞者の皆様には、主催者である置賜社会教育振興会の宇山会長より表彰状と記念品が授与されました。表彰式後には今回のコンクールで特選に選ばれた、社会教育部門の『稲藁をつくる』、『ふるさとの名湯 赤湯温泉の謎』、学校教育部門の『水の兄弟 最上川を行く』、『小町と小野川』、児童生徒作品部門の『びっきの恩返し』の5作品を多くの参加者の皆様とともに鑑賞しました。

審査委員の講評として、「『作品制作の意図や作品に込めた思いが、対象者によく伝わる構成になっているのか』という点に立ち返りながら制作に努めてほしい。」ということが挙げられました。伝えたい最大のポイントのために、内容を挿入するのか精選するのかをよく吟味し、今後の制作に生かしていただければと思います。

今後も置賜地区より優秀な作品が数多く制作されることを願うとともに、本地区における視聴覚教育の振興に向けて、いっそう努めて参りたいと思います。



受賞おめでとうございます!!

山形教育用品株式会社置賜支店における

皆様の職場に
出張します!

家庭教育出前講座



11月30日(月)、山形教育用品株式会社置賜支店(南陽市)の従業員の皆様を対象に、第1回家庭教育出前講座を開催しました。講師に山形県家庭教育アドバイザー 黒田三佳氏を迎え、「よいコミュニケーションで人づくり」を演題とし研修を深めました。講演では、よいコミュニケーションは、相手を認めることから始まり、相手に寄り添い双方向であることが大切であるということを教えていただきました。また、この考え方は子育てにも当てはまり、子どもを認めることが、子どもの頑張りにつながるということもお話されました。参加者からは、「あいさつは相手を認める事、というお話をお聞きして今日からの営業に活かしていきます。笑顔であいさつからコミュニケーション作りをがんばっていきます。」「コミュニケーションで大事なものは、双方向と共通理解であることを改めて認識しました。」「娘が中学校で黒田先生のお話を聞き、内容を教えてくれました。家庭で共有できそうです。」等、前向きな感想が多く聞かれました。



置賜教育事務所では、家庭教育出前講座において、仕事と子育ての両立や工夫など、子育てや家庭教育に関する様々な悩みについて解決の一助となるよう、御希望に合わせた講座をプロデュースします。ぜひご活用ください!

読育推進ネットワーク研修会を開催しました！

今こそ、絵本の力！

12月1日(火)、高島町中央公民館にて標記研修会を開催しました。東北文教大学短期大学部子ども学科 教授の川越ゆり氏を講師に迎え「今こそ、絵本の力～絵本の力で育む子どもの豊かな心～」と題し、講話をいただきました。



参加者からは「様々な絵本をグループ毎に紹介して下さったので、とてもおもしろく、絵本選びの参考になった」、「一冊の絵本を新たな視点から読むことで、また違った魅力の発見につながった。早速全部読んでみたい」などの感想が寄せられました。当日は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、急遽予定していた情報交換会を中止しましたが、参加者の皆さまからいただいた「心を元気にするおすすめ絵本」の情報をリスト化し、提供させていただくことを通して、ワークショップに代えさせていただいたところ。「コロナ時でも学びを止めない!」という参加者の熱い思いを感じた研修会でした。

ふるさと塾出前講座

11月25日(水)川西町立大塚小学校、
12月4日(金)長井市立西根小学校にて
伝統芸能育成事業ふるさと塾出前講座を実施しました。

<チョウセンアカシジミを守る会>

～川西町立大塚小学校～

絶滅危惧種であるチョウセンアカシジミの保護観察活動は、3年生の総合的な学習の時間で学習することが伝統となっています。今回は調査したことで班ごとに興味があったことについて2年生の前で発表しました。20年前の卵数は15,540個で今年度は約1,500個と10分1になっていました。



調査活動を通してチョウセンアカシジミが安心して生息できる場所(自然)を守っていこうという気持ちを新たにしました。

<長井小町の会>

～長井市立西根小学校～

3年生が長井小町の会の方から4回の指導を受け発表会の日を迎えました。今年度は地域に語り継がれた民話・昔語り5作品を練習してきました。どの発表もそれぞれのお話の情景が浮かんでくるようでした。昔語りの言葉は日常会話とは違い難しい言い回しですが、練習の回数を重ねるごとに上達していき、すばらしい発表会となりました。地元に興味をもってもらい、地元長井の言葉を大事にして欲しいという講師の方の願いも語られました。



次世代の地域づくり中核人材育成事業(おきたま Free カフェ)

12月13日(日)、「おきたま FREE カフェ」を開催予定しておりましたが、山形県の新型コロナウイルス感染警戒レベルが11日(金)にレベル3からレベル4に引き上げられたため急遽、中止となりました。7日(月)には、青年ファシリテーターと最後の打合せを行い、本番に向けて万全な準備をしていたところでの中止となってしまいました。ただ、「おきたま FREE カフェ」は実践できないものの、青年ファシリテーターと参加者は「おきたま FREE カフェ」に代わる何かができないかとの思いがあるので、これまでの取組みを活かした企画を行う予定です。

※本情報紙の本文は、UD(ユニバーサルデザイン)デジタル教科書体を使用しております。

【お問合せ先：置賜教育事務所社会教育課 TEL 0238(88)8242】